

事務事業名	選挙人名簿調製事務				担当	総務部 監査・選管 選挙管理委員会		
政策名	H	施策体系外			電話番号	0285-83-8190(内線3201)		
施策名	1	施策体系外の事業			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	公職選挙法					<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 昭和41 年度~)		
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	4選挙費	4選挙費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度)		
事業概要	<p>年4回(3.6.9.12月)の定時登録と選挙時登録、年1回農業委員会委員選挙の選挙人名簿の登録、在外選挙人名簿登録を随時実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時登録は、登録月の1日を基準日として、登録される資格を有する者を当該登録月の2日に登録する。 ・選挙時登録は選挙のつど、基準日と登録日を定めて行う。 ・農業委員名簿登録は、毎年1月1日を登録基準日として毎年3月31日に確定する。 							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 23年度実績 定時登録は4回、選挙時登録は1回、農業委員会委員選挙人名簿登録は1回、在外人選挙名簿登録随時予定 24年度計画 定時登録は4回、選挙時登録は1回、農業委員会委員選挙人名簿登録は1回、在外人選挙名簿登録随時予定	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア: 定時登録、農業委員会選挙人名簿登録回数	回	5	5	5	5	5
	イ: 選挙時登録回数	回	2	2	1	3	1
	ウ: 在外選挙人登録回数	回	2	5	2	4	2
エ							
オ							
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 名簿登録要件を満たしたもの	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア: 名簿登録者数	人	57881	75299	75118	74231	
	イ						
	ウ						
エ							
オ							
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 適正な選挙人の登録	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア: 適正な選挙人名簿登録者の割合	%	100	100	100	100	
	イ						
	ウ						
エ							
オ							
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 選挙の適正な管理執行	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア: 適正に執行された選挙	件	2	3	1	3	
	イ						
	ウ						
エ							
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	724	956	956	956	
	事業費計(A)	千円	724	956	956	956	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	3	3	3
		延べ業務時間	時間	196	196	196	196
		人件費計(B)	千円	819	795	837	831
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,543	1,751	1,793	1,787	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いったいどんな経緯で開始されたのか?	選挙人の適正な登録
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	昭和41年永久選挙人名簿制度が採用され、年2回の定時登録制となった。昭和44年の法改正により、住民基本台帳の記録に基づいて市町村の選挙管理委員会が資格調査して登録することとなった。平成9年、登録回数が年4回に改正された。平成15年6月の法改正により、在外選挙制度及び期日前投票制度が創設された。
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公職選挙法に基づき選挙人名簿登録が必要のため、市の政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公職選挙法に基づくものであり、妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 公職選挙法に基づくものであり、適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 公職選挙法に基づくものであり、成果の向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 公職選挙法に基づくものであり、廃止できない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない 他に類似事業はない。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費は名簿調製の委託料であり、必要最小限の経費であるため、削減の余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 人件費は名簿調製の際の人件費であり、必要最小限であるため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							